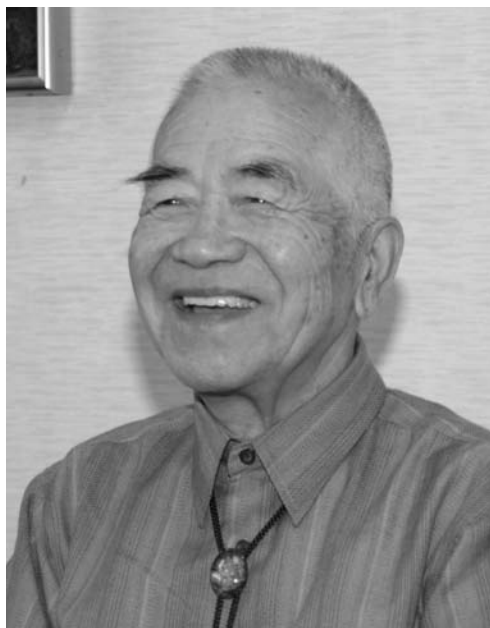


クローズアップ

③

俳句を通して

四季やこころを伝えたい



あきら
片平 彰さん (80歳)
登米町・三日町

「歴史の町登米に生まれ、自然に俳句が好きになった」と話す片平さん。俳句を始め、30年、とよま俳句会の会長として活躍しています。登米は、俳人「松尾芭蕉」が一宿した地として知られており、俳句の盛んな町です。登米芭蕉祭俳句大会も毎年行われており、今年で54回目を迎えました。この歴史ある大会には、毎年遠方からの参加もあり、俳句を通じた交流が深められています。

長年教員を勤めてきた片平さんは、子どもたちにも俳句のこころを学んでほしいと、学校へ俳句大会の参加を呼びかけ、毎年多くの作品が寄せられています。「子どもたちの作品はとても純粋で、詠んでいてもころが和みます」と話してくれました。穏やかに俳句の話しをする片平さんですが、柔道五段の猛者の一面ももっています。小さいころから柔道が好きで、選手だけではなく指

導者としても活躍し、引退した現在も近くで試合などがあれば、昔に戻った気持ちで応援しているそうです。登米に生まれて、登米の歴史に触れながら過ごしてきた片平さんからは、故郷を愛する気持ちが伝わってきます。「多くの皆さんに俳句の良さを知ってもらうために、これからは一生懸命がんばっていきます。今後は後継者育成にも力を入れていきたいですね」と抱負を話してくれました。

文芸コーナー

短歌

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 植え終えし田は広々と漣の
立ちて早苗は朝日に光る | 岩渕はる子(中田) |
| 笹若葉出づれば年どし手作りの
粽届けし母若かりし | 宮崎キエ子(東和) |
| 梅をもぎジューズを造る楽しみは
待ちわびているあの人あの顔 | 巨理 幹子(東和) |
| 半身の麻痺残りたる十五年
歌を支えに前向きに生きぬ | 伊藤 泰子(迫) |
| 風受けてオランダ風車小気味よく
回る傍えに揚雲雀啼く | 千葉はし処(南方) |
| 苗箱に土入れながら明日に来る
四十八年目の結婚記念日 | 阿部ふみ子(米山) |
| 病める時なやめる時も吾が亡母に
守り給えと心に祈る | 佐藤えみほ(米山) |
| 散歩道行き交う人の挨拶に
心なごみぬ明日も逢いたし | 千葉みゆき(米山) |
| 雪どけの水漬くところ清々し
立つ水芭蕉の心満たさる | 主藤 恵子(米山) |
| 伽隅に取り残されし雑草に
可憐な花咲きふと手を止める | 水野トヨコ(米山) |
| 黒揚羽来て芝桜色少し
うすれひろがり春逝く気配 | 折居由紀子(米山) |
| 庭隅のりんごの花の満ちる季
広報登米を飲び読す | 千葉たかぶ(米山) |

サークル紹介

③

よさこいサークル



よさこいを踊ると足腰が丈夫になります



代表 沼倉 靖子さん
(東和町・錦織1区)
連絡先 090 (7331) 5604

「よさこい踊りを通じて、同年代の仲間と色々な踊りの話しをしたり、世間話をするのが楽しい」と笑顔で語る沼倉さん。よさこいサークルは、毎週火曜日の午後7時30分から、東和勤労青少年ホームで活動しています。現在会員は8人で、50代、60代の女性の人たちで構成されています。

よさこい踊りは、4年前に公民館活動で踊って興味を持ち、サークルはそのとき集まった仲間で作成。東和町に昔からあった「嗟峨立甚句」「米谷小唄」「米川音頭」に離子などを取り入れてオリジナル曲「よさこい東和」を作り出しました。その後、町内の各地区運動会で積極的に踊りを浸透させたこともあって、今では「よさこい東和」を踊れる人は百人を超えました。市内のさまざまなイベントにも参加していて、今年は8月14日に催される「2005YOSAKOI & ねぶた in とよさ」とに出場する予定です。

「いつかは仙台のみちのくよさこい祭りに出場したい。出場するには、オリジナル曲のほかに、統一曲「乱舞」を踊れることが条件。最低でも20人必要なので、市内外、男女、年齢問わず、一緒に踊ってくれる人を募集しています」と夢を語ってくれました。

踊りに興味のある人や運動不足を解消したい人は、沼倉さんまでご連絡ください。

俳句

こごみ摘む素手に山の香ほのぼのと 佐々木ひろ子(東和)

道の駅放つ若葉の道四方に 大坂 十縫(東和)

藤の川猊鼻追分こだまして 佐藤 フミ(東和)

新緑の雨一山を洗ひけり 及川 淑子(東和)

棕櫚の花幾年も経て咲きにけり 松野やよひ(東和)

ほととぎす朝の青田に響きけり 猪股トミ子(東和)

沢蟹の住む清水あり夫の里 小平 華子(東和)

待つ程に一声高くほととぎす 及川 裕子(東和)

仕舞ひたる衣捜せし若葉冷え 佐藤 昌子(東和)

追分けのゆつたり流る藤の峽 金光とし子(東和)

風光る水面に山吹き花筏 赤松 興(東和)

今一度歩いて見たし青芝ふ 新田 佐蔵(迫)

悩みありふさぐ心ぞ梅雨の空 新田ふじ子(迫)

神経痛手足にからむ走り梅雨 園 永泊(迫)

箒持ち橋の袂に螢狩 中田まゆみ(迫)

こびりつく猫の鳴き声青嵐 今野きよし(迫)

※応募者多数のため抽選で掲載しました。ご了承ください。

●●文芸作品募集●●

俳句、短歌、川柳いずれか1カ月1作品。締め切りは毎月10日。住所、氏名、電話番号を記入して応募ください(作品には必ず読みがなを付けてください)。応募者多数の場合は抽選での掲載になります。

【あて先】〒987-0511
登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
登米市総務部総務課広報係
☎0220 (22) 2090
FAX0220 (22) 9164
E-mail:koho@city.tome.miyagi.jp